

TimeTracker FX

【SQL Server 2008 Express 手動インストール方法】

2014 年 12 月

株式会社 デンソークリエイト

1. はじめに

1.1 本書の目的

本資料では、TimeTracker FX評価版、および、製品版に同梱されているSQL Server Expressを手動インストールする場合の手順を説明しています。

※TimeTracker FXのインストーラ[autorun.exe]からSQL Server Expressをインストールする場合には、本資料での手順は不要です。

1.2 用語の定義

■ SQL Server Express

データベースサーバです。

本資料では、TimeTracker FX評価版、および、製品版に同梱されているSQL Server Expressを想定しています。

1.3 注意事項

※ このドキュメントに記載している情報(URL等のインターネットWebサイトに関する情報を含む)は、将来予告なしに変更することがあります。

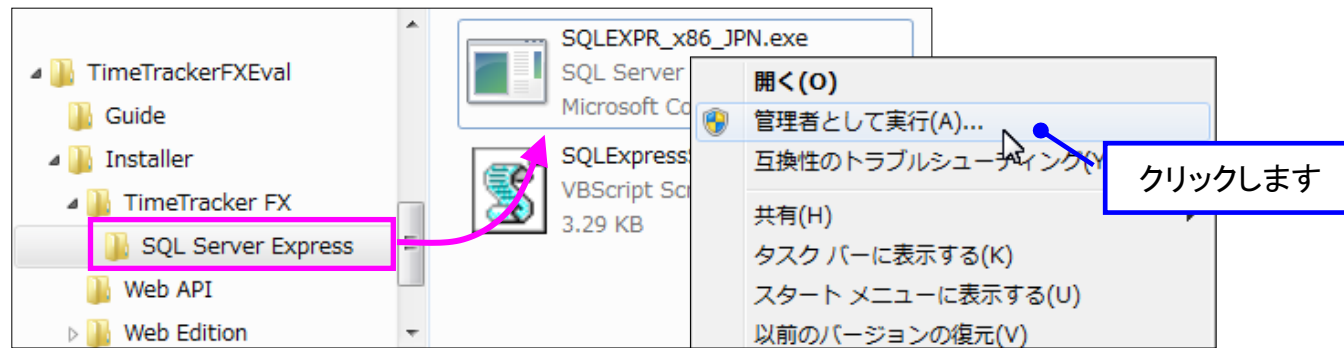
※ Microsoft、Windowsまたは、その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

2. SQL Server Expressのインストール

2.1 SQL Server Expressのインストーラの起動

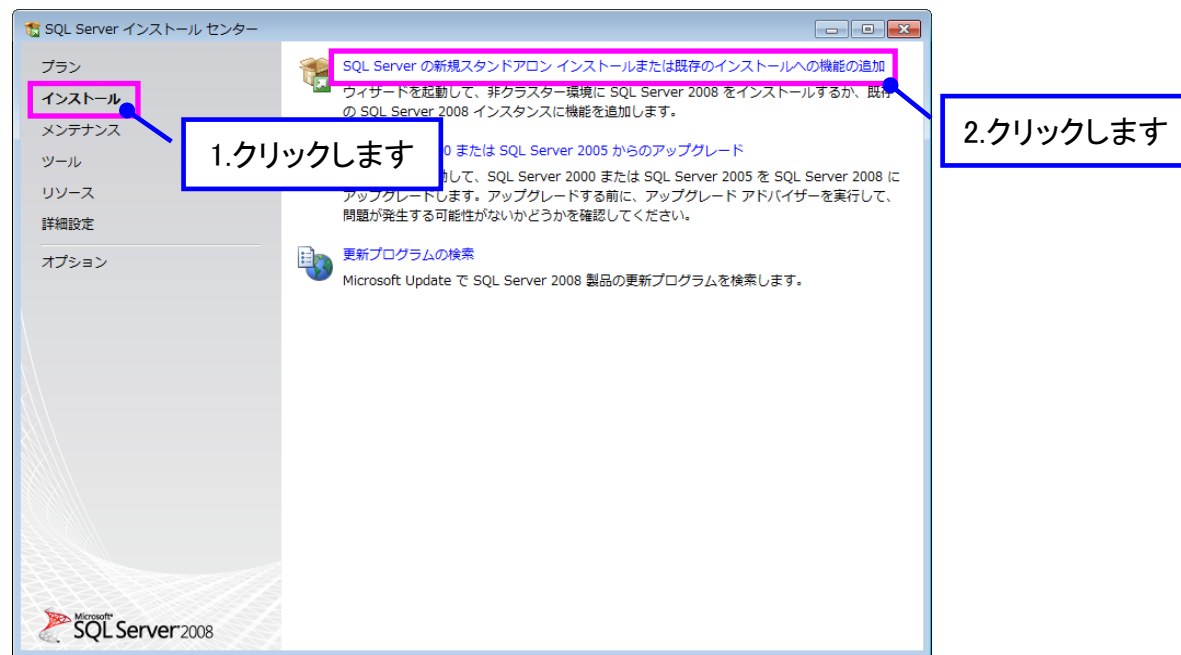
「SQLEXP_x86_JPN.exe」を右クリックし、[管理者として実行]を選択します。



2.2 SQL Server の新規インストール

[SQL Server インストール センター]が表示されます。

[インストール]を選択して、[SQL Server の新規スタンドアロン インストールまたは既存のインストールへの機能の追加]をクリックします。

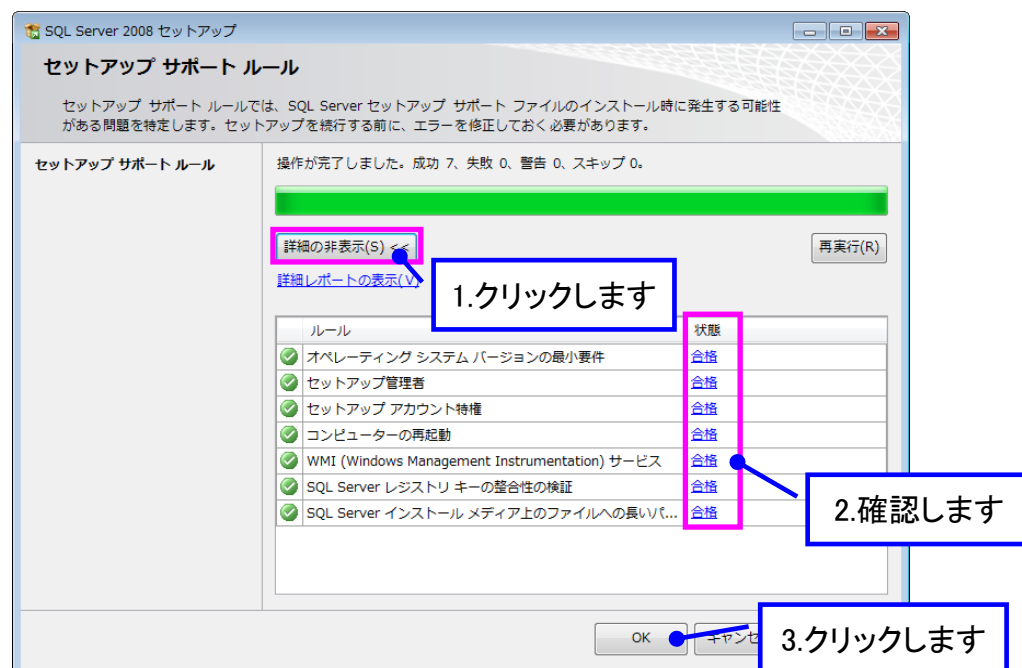


2.3 セットアップ サポート ルールの確認

[セットアップ サポート ルール]が実行されます。

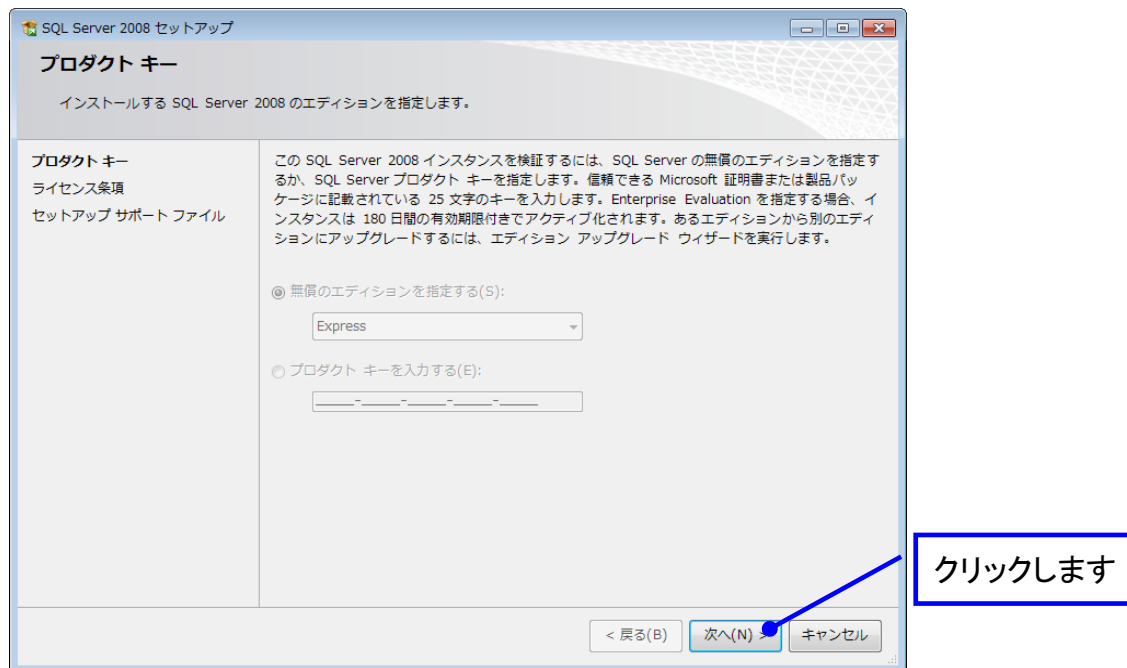
[詳細の表示]を表示して、すべてのルールが[合格]になっていることを確認します。

問題がなければ、[OK]をクリックして次へ進みます。



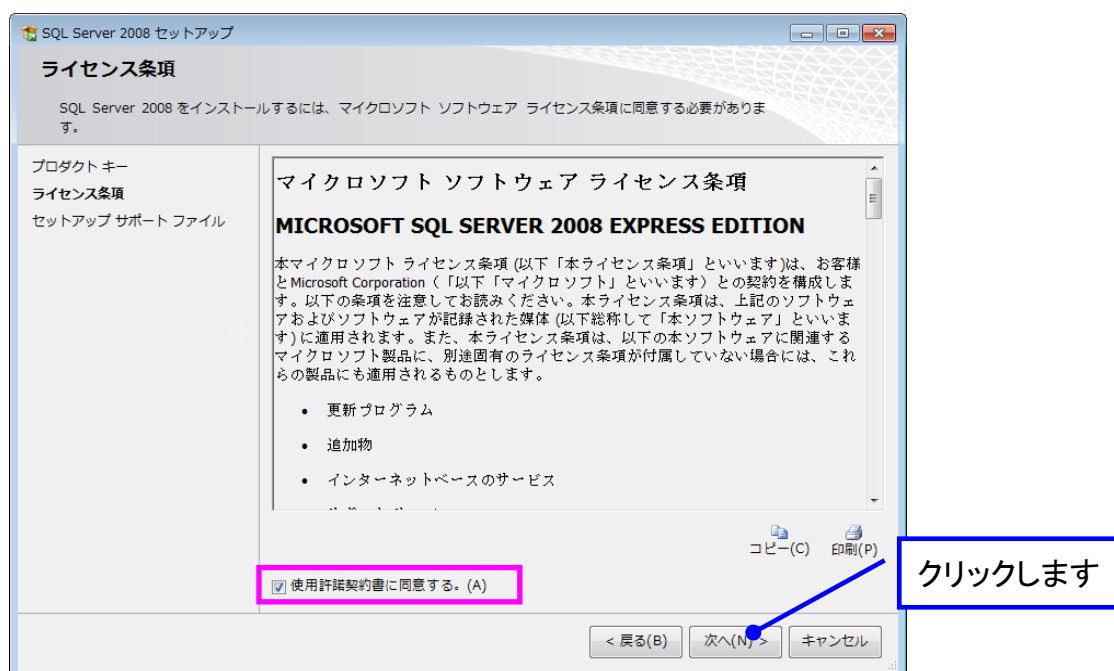
2.4 エディションの指定

Expressのインストーラであるためエディションの指定やプロダクトキーの入力はできません。
[次へ]をクリックします。



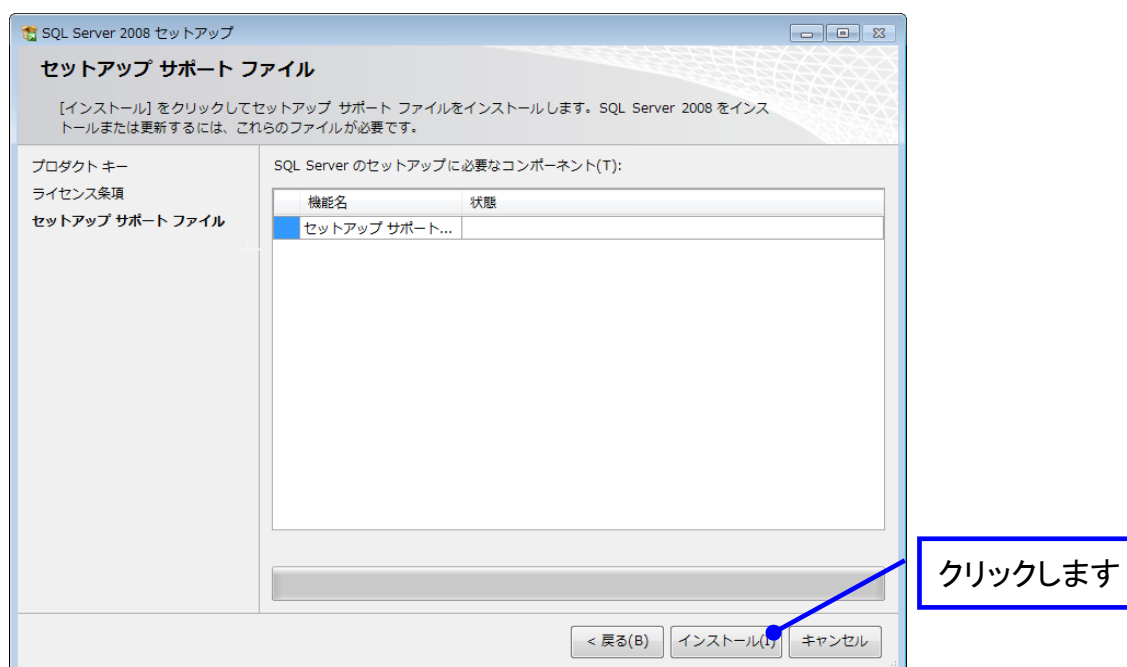
2.5 ライセンス条項の確認

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を読みます。
問題がなければ[使用許諾契約書に同意する]をチェックして、[次へ]をクリックします。



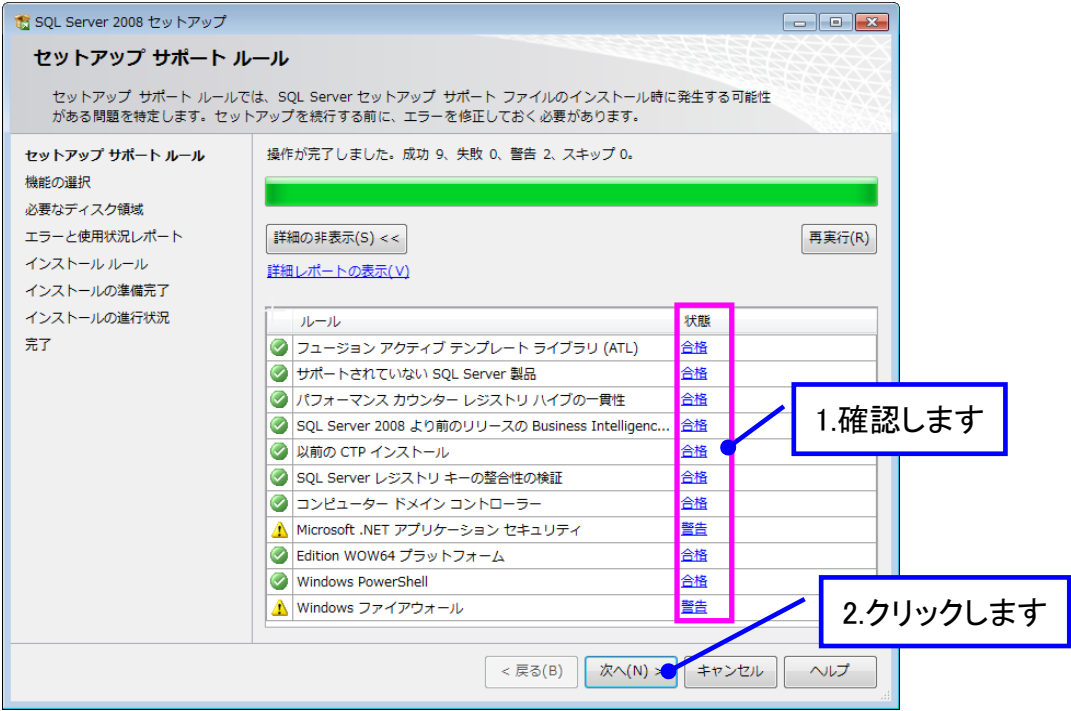
2.6 セットアップ サポート ルールのインストール

[インストール]をクリックし、セットアップサポートファイルのインストールを開始します。



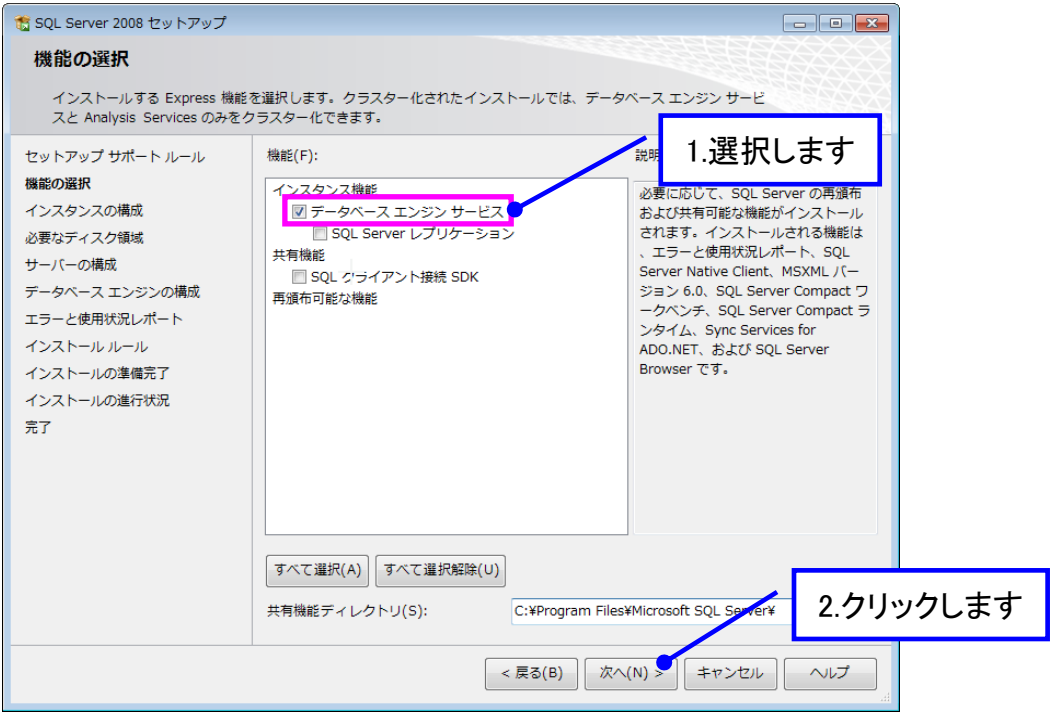
2.7 セットアップ サポート ルールの確認

さらに詳細な[セットアップ サポート ルール]が実行され、詳細レポートが表示されます。問題がなければ、[次へ]をクリックします。



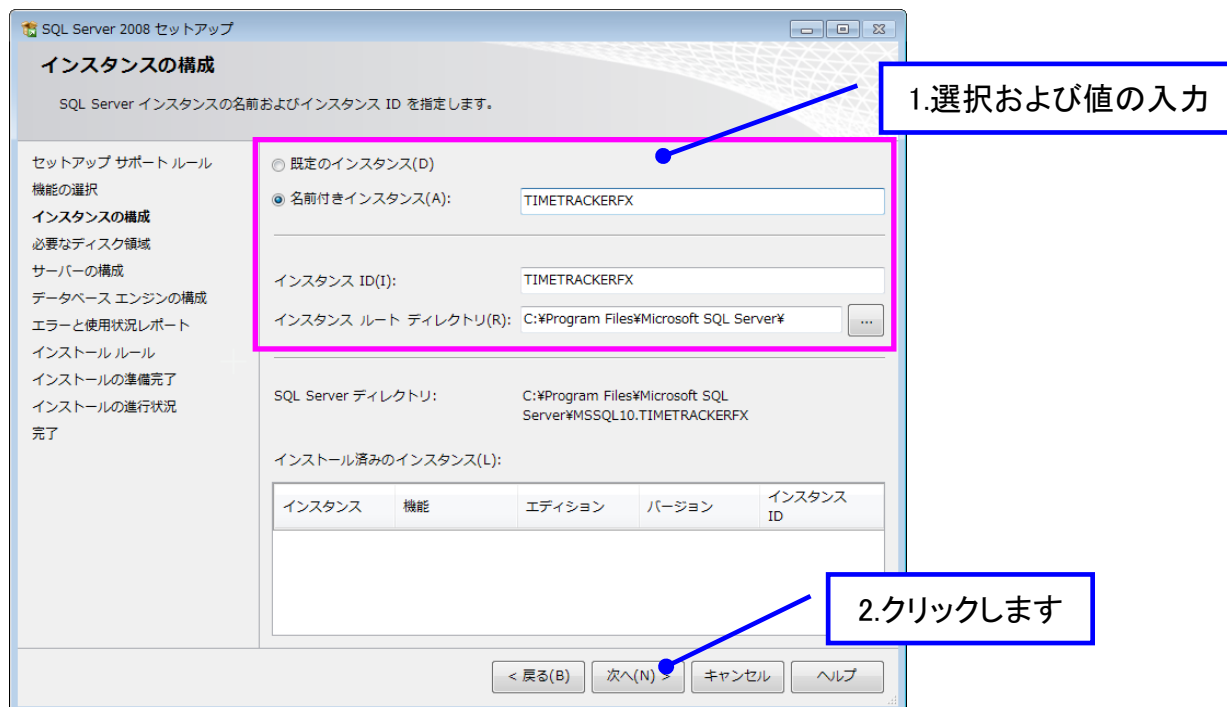
2.8 インストールする機能の選択

インストールする機能を選択し、[次へ]をクリックします。
※[データベース エンジン サービス]は必須です。



2.9 インスタンス名の設定

インスタンス名を設定し、[次へ]をクリックします。



※[名前付きインスタンス]を指定した場合は、設定した値をメモなどに記録してください。

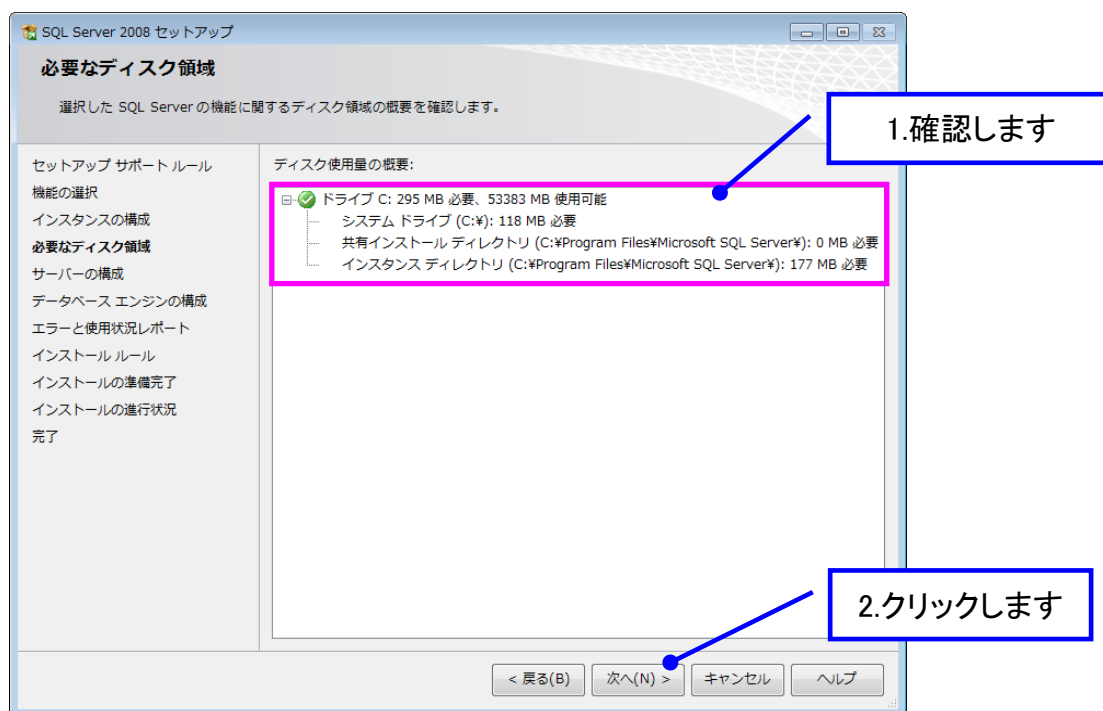
Server Managerでデータベース作成時に必要となります。

※[既定のインスタンス]を指定しても問題ありません。

※インスタンスの詳細については、[ヘルプ]をご覧ください。

2.10 ディスクの容量の確認

SQL Serverのインストールに必要な空き容量が、PCのディスクに足りているか確認し、問題がなければ、[次へ]をクリックします。

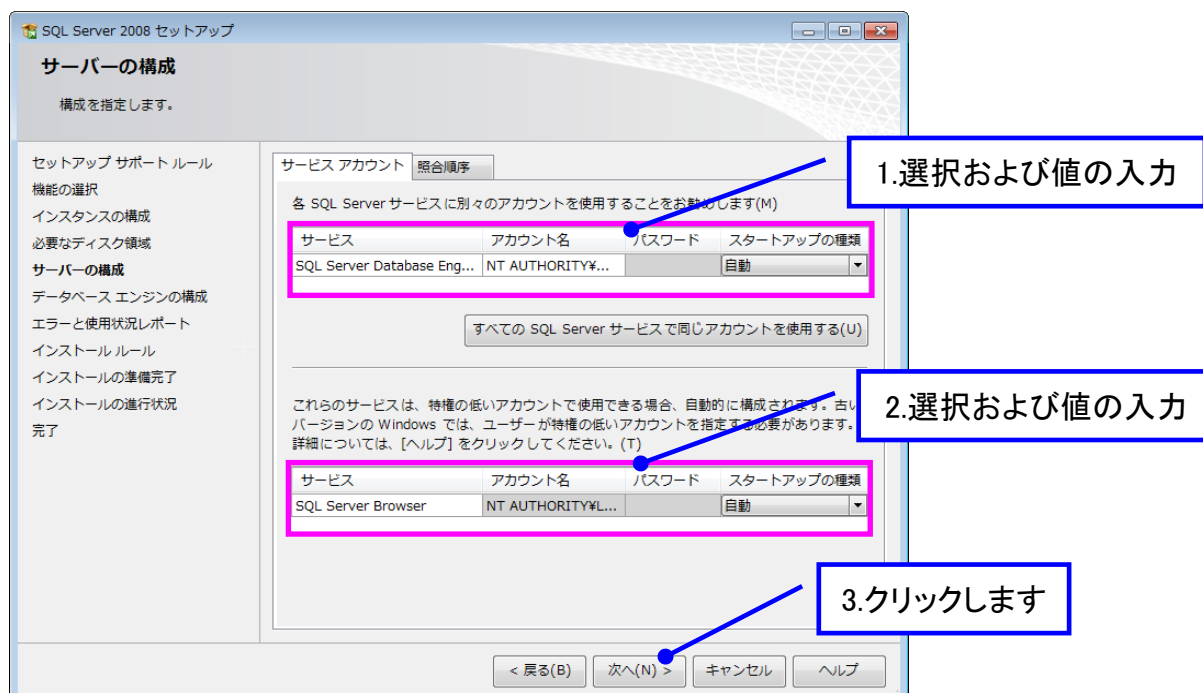


2.11 サーバの構成(サービスアカウントの設定)

SQL Server サービスのアカウントを設定し、[次へ]をクリックします。

※TimeTracker FXで推奨する設定はありません。

システム運用・管理ポリシーに従って設定してください。詳細は、[ヘルプ]をご覧ください。



2.12 認証モードの設定

[混合モード]を選択し、SQL Server の管理者アカウントの設定を行い、[次へ]をクリックします。

※重要

データベース エンジンの構成

データベース エンジンの認証セキュリティ モード、管理者、およびデータ ディレクトリを指定します。

セットアップ サポート ルール
機能の選択
インスタンスの構成
必要なディスク領域
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
エラーと使用状況レポート
インストール ルール
インストールの準備完了
インストールの進行状況
完了

アカウントの準備

データ ディレクトリ

ユーザー インスタンス

FILESTREAM

データベース エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。

認証モード

Windows 認証モード(W)

混合モード(M) (SQL Server 認証と Windows 認証)

ビルトイン SQL Server システム管理者アカウント

パスワードの入力(E):

パスワードの確認入力(O):

SQL Server 管理者の指定

現在のユーザーの追加(C)

追加(A)...

削除(R)

< 戻る(B)

次へ(N)

キャンセル

ヘルプ

1.[混合認証モード]を選択します

2.ビルトイン SQL Server システム管理者アカウント「sa」のパスワードを設定します
※SQL Server 認証で利用するアカウントです
※autorun.exeより自動インストールした場合、パスワードは「Admin///」となります

3.[現在のユーザーの追加]または[追加]からSQL Server 管理者のアカウントを指定します
※Windows 認証で利用するアカウントです

4.クリックします

※TimeTracker FX は、[混合認証モード]で動作します。[Windows 認証モード]では動作しません。
※設定したパスワードは、TimeTracker FXのインストール(データベースの作成)などに使用します。
※パスワードは、複雑なものを設定し、取り扱い等の管理にご注意ください。

2.13 エラーと使用状況レポートの設定

必要に応じてチェックし、[次へ]をクリックします。
※TimeTracker FX の動作には影響しません。

SQL Server 2008 セットアップ

エラーと使用状況レポート

SQL Server の機能やサービスの改善への協力。

セットアップ サポート ルール
機能の選択
インスタンスの構成
必要なディスク領域
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
エラーと使用状況レポート
インストール ルール
インストールの準備完了
インストールの進行状況
完了

今後のリリースの SQL Server の改善に役立てるために Microsoft に自動的に送信する情報を指定します。これらの設定はオプションです。この情報は機密情報として取り扱われます。Microsoft では、Microsoft Update を通じて更新を提供し、機能の使用状況データを変更する場合があります。これらの更新プログラムは、自動更新の設定に応じて自動的にコンピューターにダウンロードおよびインストールされることがあります。

[SQL Server のプライバシーとデータ収集に関する Microsoft ポリシーを表示します。](#)

[Microsoft Update と自動更新の詳細を参照します。](#)

Windows および SQL Server のエラー レポートを Microsoft または企業内のレポート サーバーに送信します。この設定は、ユーザーの介入なしに実行されるサービスのみに適用されます。(W)

機能の使用状況データを Microsoft に送信します。機能の使用状況データには、ハードウェアの構成や、Microsoft のソフトウェアやサービスをどのように使用しているかに関する情報が含まれます。(F)

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

ヘルプ

クリックします

2.14 インストール ルールの結果確認

[インストール ルール]が実行されます。
[詳細の表示]を表示して、問題がなければ、[OK]をクリックして次へ進みます。

SQL Server 2008 セットアップ

インストール ルール

インストール処理がブロックされるかどうかを判断するために、ルールを実行しています。詳細については、[ヘルプ]をクリックしてください。

セットアップ サポート ルール
機能の選択
インスタンスの構成
必要なディスク領域
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
エラーと使用状況レポート
インストール ルール
インストールの準備完了
インストールの進行状況
完了

操作が完了しました。成功 8、失敗 0、警告 0、スキップ 4。

詳細の非表示(S) <

詳細レポートの表示(V)

再実行(R)

ルール	状態
同アーキテクチャのインストール	合格
同一言語のインストール	合格
クラスター化されているかクラスターの準備ができている、...	合格
Reporting Services カタログ データベース ファイルの存在	適用なし
Reporting Services カタログ一時データベース ファイルの...	適用なし
SQL Server 2005 Express Tools	適用なし
このエディションでサポートされているオペレーティングシ...	合格
FAT32 ファイル システム	合格
SQL Server 2000 Analysis Services (64 ビット) インスト...	合格
インスタンス名	合格
Microsoft Visual Studio 2008 の前のリリース	適用なし
更新セットアップ メディアの言語の互換性	合格

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

1.クリックします

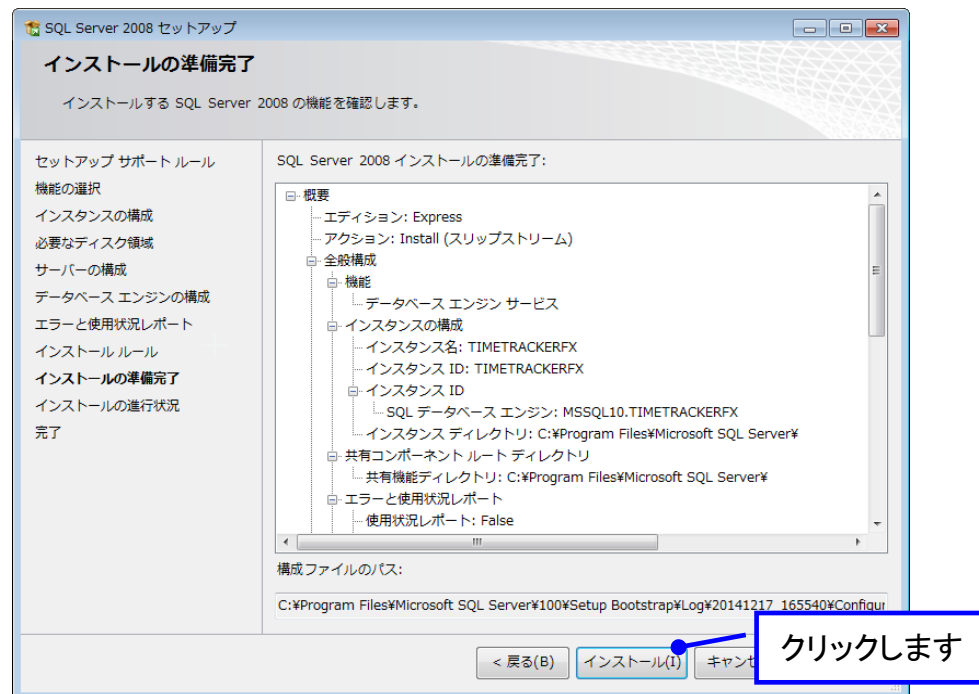
2.確認します

3.クリックします

7

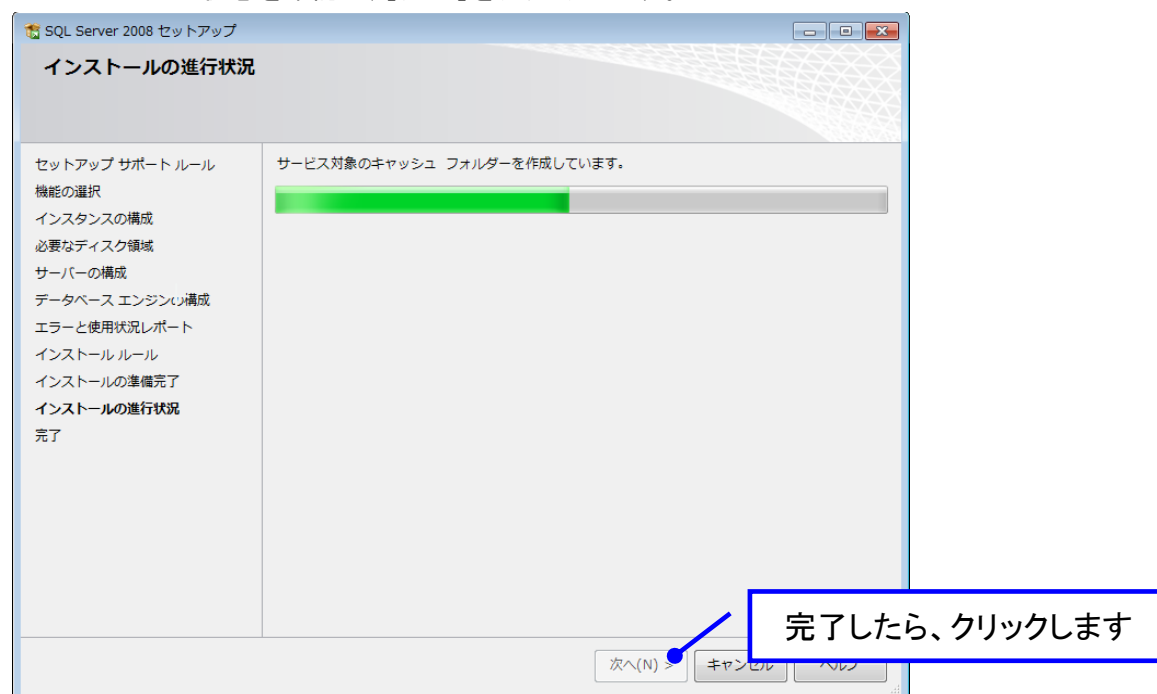
2.15 インストールする機能の確認

インストールする機能を確認して、問題がなければ[インストール]をクリックし、インストールを開始します。



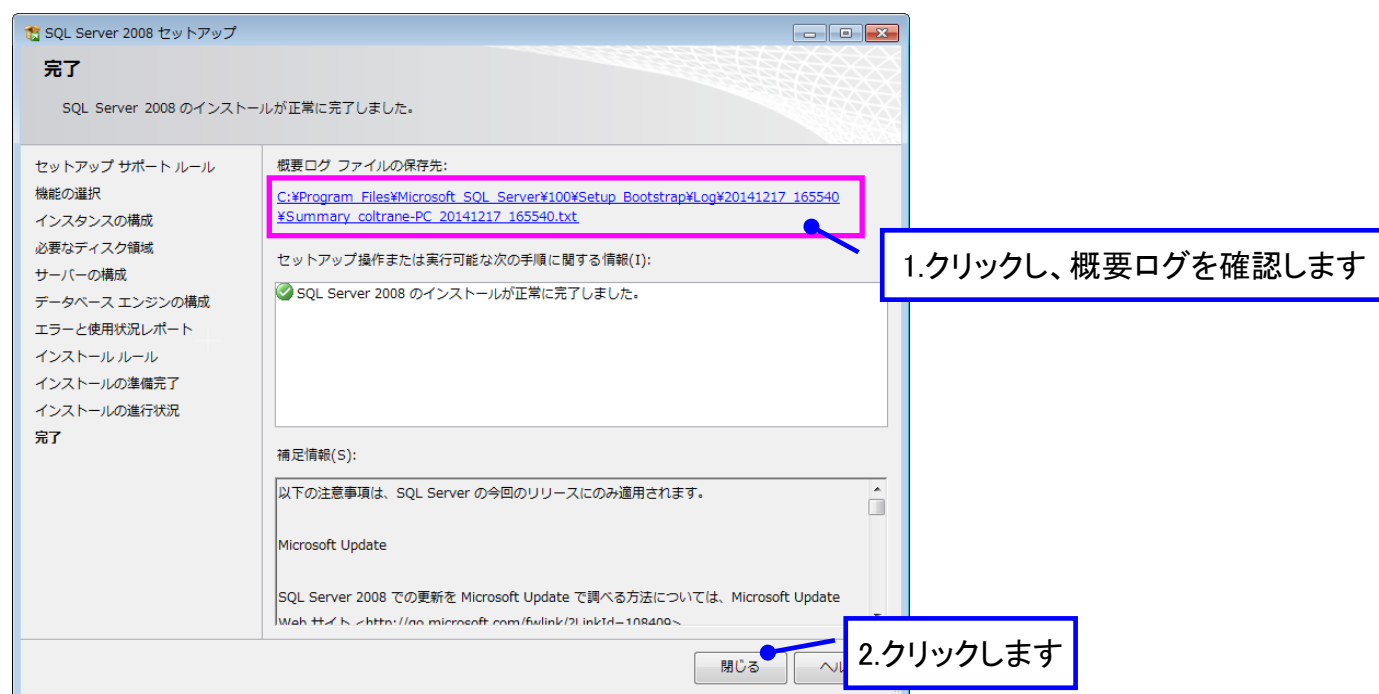
2.16 インストールの進行状況

インストールを開始すると、進行状況が表示されます。完了するまで操作は不要です。インストールの状態を確認し、[次へ]をクリックします。



2.17 セットアップ完了

[概要ログ]を確認して、エラーや問題がなければ、[閉じる]をクリックしてインストールを終了します。



2.18 PCの再起動

PCの再起動が要求された場合は、PCを再起動してください。

3. SQL Server の設定

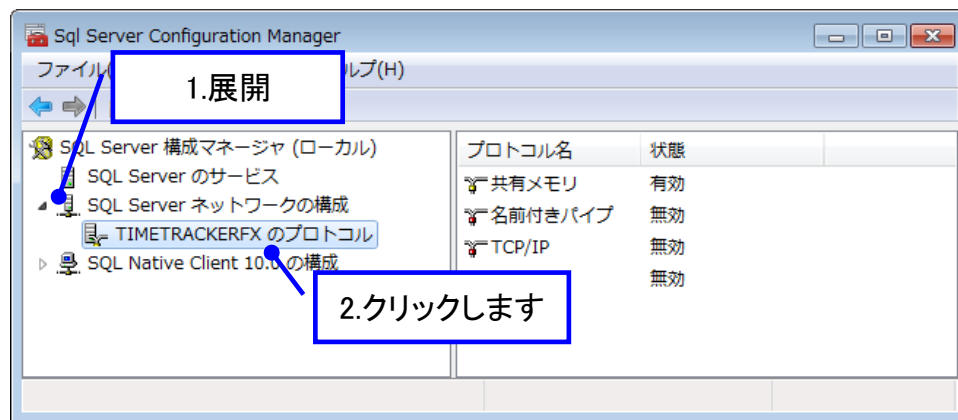
3.1 SQL Server 構成マネージャの起動

Windows[スタート]メニューの[すべてのプログラム]－[Microsoft SQL Server 2008]－[構成ツール]－[SQL Server 構成マネージャ]をクリックします。

3.2 ネットワーク構成の設定

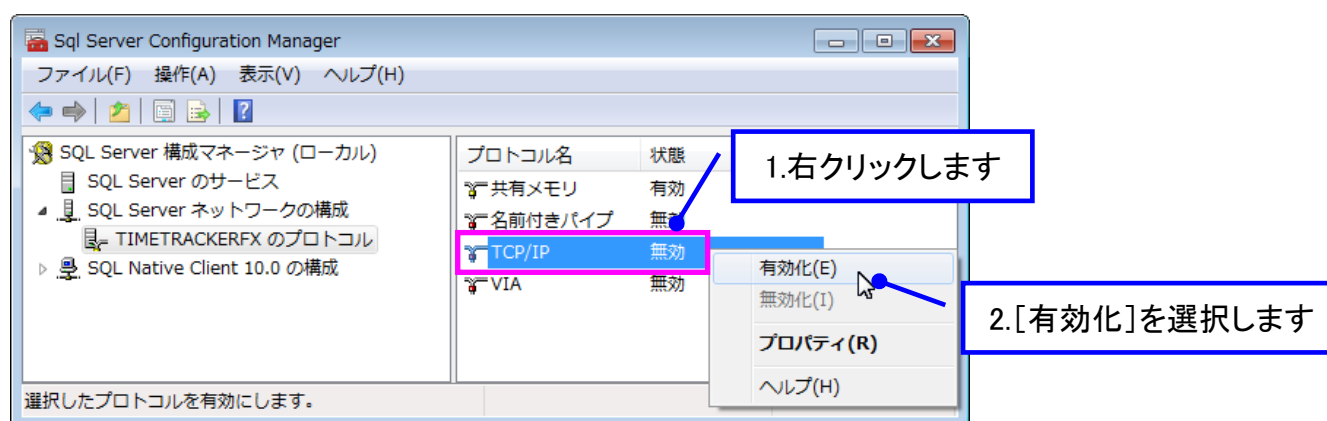
3.2.1 ネットワークプロトコルの確認

[SQL Server ネットワークの構成]－[(インスタンス名)のプロトコル]をクリックします。



3.2.2 TCP/IPの有効化

TCP/IPが無効になっている場合は、TCP/IPを右クリックして[有効化]をクリックします。
※TCP/IPが有効になっている場合は、本手順は不要です。次の手順に進みます。

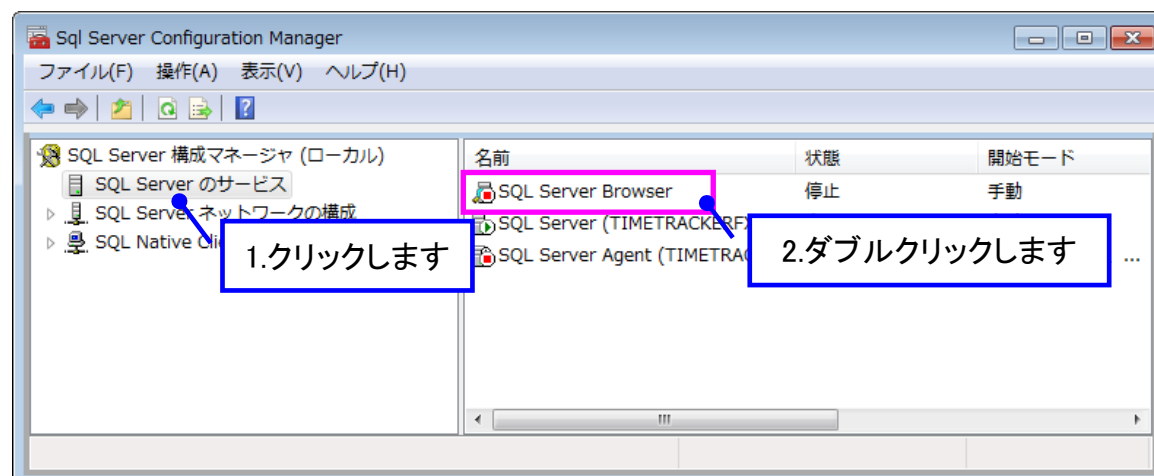


3.3 SQL Server Browserの設定

※既定のインスタンス(手順2.9)を設定している場合は、本手順は不要です。次の手順に進みます。

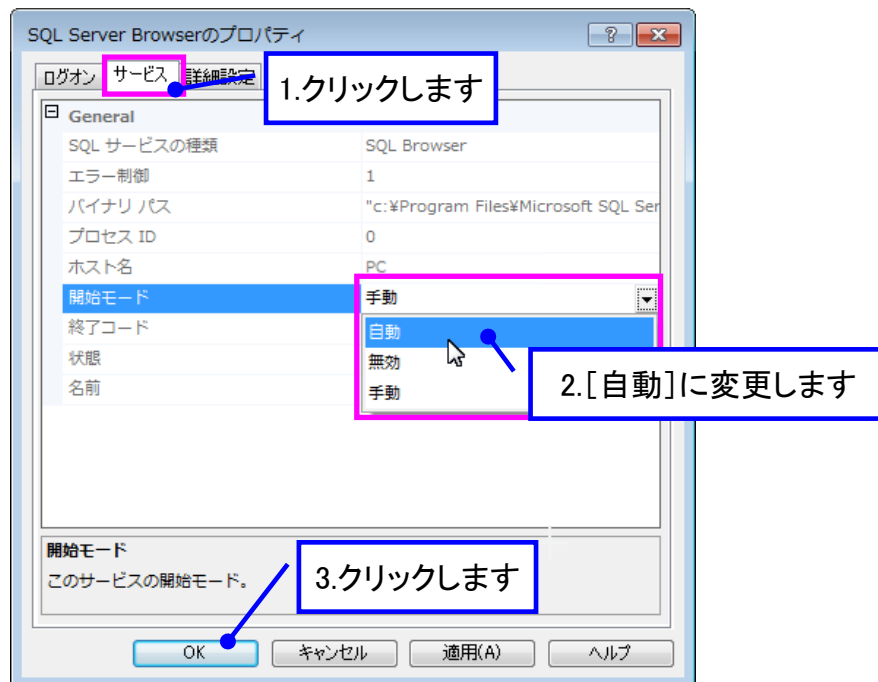
3.3.1 SQL Server Browserのプロパティを開く

[SQL Server のサービス]－[SQL Server Browser]をダブルクリックします。



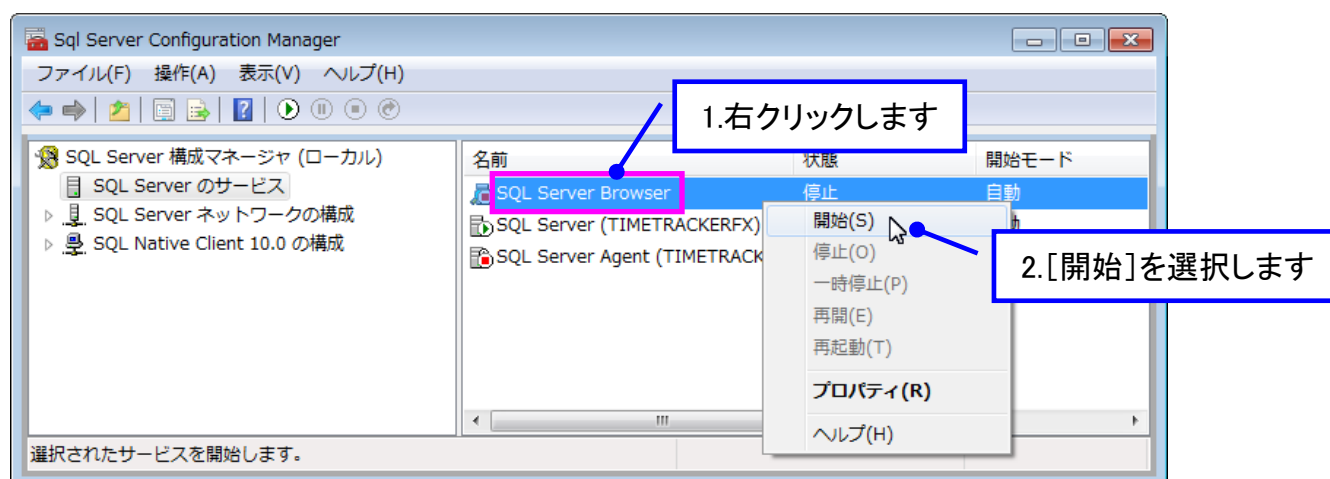
3.3.2 SQL Server Browserの開始モードの変更

[サービス]タブをクリックして、[開始モード]を[自動]に変更します。
[OK]をクリックして、[SQL Server Browserのプロパティ]を閉じます。



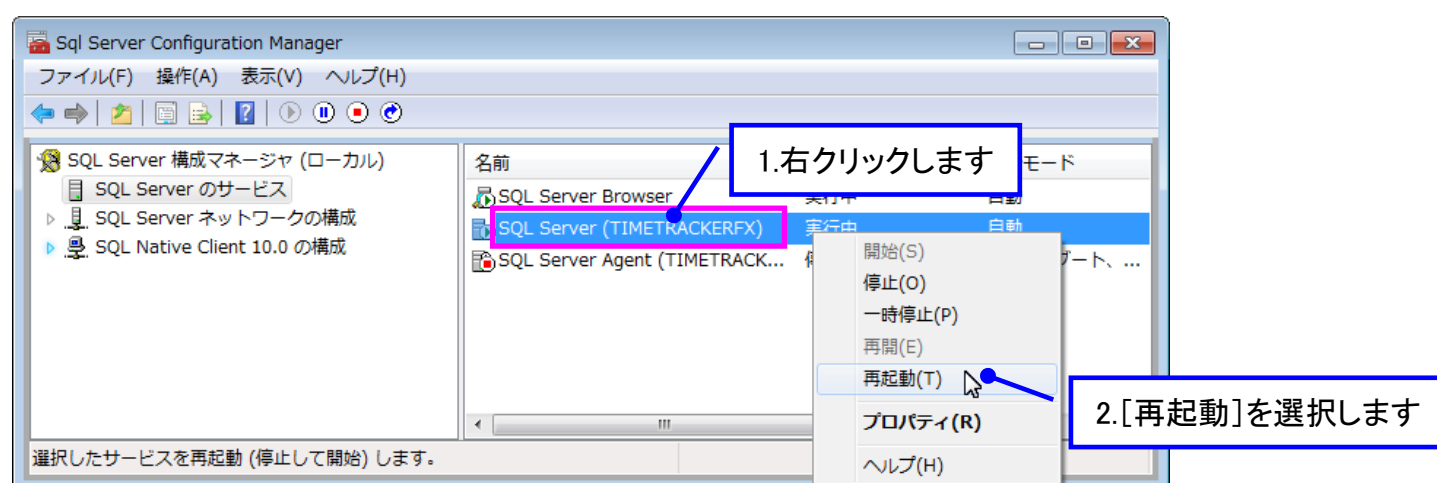
3.3.3 SQL Server Browserの起動

[SQL Server のサービス]ー[SQL Server Browser]を右クリックします。
[開始]を選択すると、SQL Server Browserが起動します。



3.4 SQL Server の再起動

[SQL Server のサービス]ー[SQL Server (インスタンス名)]を右クリックします。
[再起動]を選択すると、SQL Serverが再起動し、設定内容が反映されます。



以上でSQL Serverのインストールは終了です。
TimeTracker FX セットアップガイドをご参照いただき、TimeTracker FXのインストールおよびデータベースの作成を行ってください。

以上 ■